

遂に待望のときが来た!  
史上最大のロック・グループ「レッド・ツェッペリン」  
狂熱のライブが始まる

# レッド・ツェッペリン

## 狂熱のライブ

テクニカラー 4CHダイナミック・スーパー・サウンド

ジミー・ペイジ / ジョン・ボーナム / ジョン・ポール・ジョーンズ / ロバート・プラント  
コンサート・シーケンス・フィルム (マジソン・スクエア・ガーデンにて)  
■オリジナル・サウンドトラック盤 永遠の詩 (スワンソング・レコード (アトランティック))  
ワーナー・ブラザーズ映画 From Warner Bros. A Warner Communications Company

IN CONCERT AND BEYOND  
LED-ZEPPELIN  
THE SONG REMAINS THE SAME

# レッド・ツェッペリン

## 狂熱のライブ

★スター★  
 ジミー・ペイジ(ギター)  
 ロバート・プラント(ボーカル)  
 ジョン・ボーナム(ドラムス)  
 ジョン・ポール・ジョーンズ  
 (ベース&キーボード)

IN CONCERT AND BEYOND  
**LED-ZEPPELIN**  
 THE SONG REMAINS THE SAME

### \*かいせつ

ついに待望のときがきた。史上最大のロック・グループ、レッド・ツェッペリンがスクリーンに登場する。

この映画は、3年以上もの日数をかけて製作されていたもので、レッド・ツェッペリンの映画デビュー作である。監督はピーター・クリフトンとジョー・マソットの2人、製作はスワン・ソング・インコーポレーテッド。

主演はレッド・ツェッペリンの4人のメンバー(ジミー・ペイジ、ロバート・プラント、ジョン・ポール・ジョーンズ、ジョン・ボーナム)。何百万人ものファンの長年の熱望にこたえて特に自分たちのアイデアと企画で実現させたもので、レッド・ツェッペリンの独特な世界があまるところなく描きだされている。

映画は、あの1973年のマジソン・スクエア・ガーデンにおける熱狂的なコンサートを中心に、その中に彼らの独自の世界を創り出しているが、その案内役をつとめるのはもちろん彼らの音楽である。同時に、映像と音楽を通して、彼らの考え、夢、感情といった内面生活をも浮かびあがらせている。これは彼らのありのままの姿を捉えたものであり、ここにはじめてレッド・ツェッペリンをかぶりつきで堪能できる待望の映画がやってきたのである。

レッド・ツェッペリンは1968年の暮に登場した。ジミー・ペイジが、ヤードバーズの解散後、セッションの仕事に戻るより自分自身のグループを作ろうと決心して結成したのだった。

ベース奏者のジョン・ポール・ジョーンズが参加した後、ペイジはロバート・プラントに会い、プラントはグループの3人目のメンバーになった。プラントがいたグル

★ ープ、バンド・オブ・ジョーイのドラマー  
 ★ だったジョン・ボーナムが最後に加わった。  
 ★ 元ヤードバーズのマネージャー、ピーター・グラントのマネージングで、新しいグループはニュー・ヤードバーズとして北欧  
 ★ 諸国に2週間の演奏旅行をおこなった。そしてイギリスに戻ると、レコーディングの前  
 ★ 前たった3日間リハーサルをやっただけでファースト・アルバムを完成させた。

★ この新しいレコードと、レッド・ツェッペリンという新しい名前とともに、彼らはたちまち大成功を取めた。

★ レッド・ツェッペリンは、初期の演奏活動をアメリカに集中しておこない、嵐のような大喝采を浴びた。のちに、演奏のためイギリスに戻ったとき、同様の大歓迎を受けることになった。

★ 1975年8月、ロバート・プラントがギリシャのロドス島で自動車事故に遭遇した。★ 彼が回復するまで、レッド・ツェッペリンは1年以上も演奏旅行を中断せざるをえなかった。しかし、プラントが全快するやただちにスタジオに駆けつけ、夏のカリフォルニア滞在期間中に作った「プレゼンス」★ をレコーディングした。このアルバムはプラチナを達成、またたく間に全レコードの★ チャートのNo.1におどりあがるという最大のヒットとなったのである。

★ この映画は、レッド・ツェッペリンの最初の長編映画であり、そのサウンドトラック・アルバムも現在パイオニアから発売され大ヒットを飛ばしている。ジミー・ペイジ★ は言う。「われわれの音楽はテクノロジー時代のフォーク・ソングだ」。まさにその★ おりで、レッド・ツェッペリンの音楽は、★ 無数の若いミュージシャンたちに限りない★ 感銘と影響を与え、音楽界に独自のスタイルとトーンを確立したのである。

(上映時間 2 時間18分)



7月16日(土) 狂熱のロードショー

渋谷 **ジョイシネマ**  
 (462)2539

**新宿地球座**  
 (209)6180

●特別鑑賞券 ¥1000 / 中・高生 ¥800 (一般・大学生 ¥1300の処) 発売中!

連日 10:30 1:05 3:40 6:15